

# 地域と家族の応援団 笑顔であいさつをしよう

あいさつやちょっとした声掛けで気持ちよく過ごすことができます

## 子どもへ声をかけるときの留意点

- 最初は少しはなれて(子どもの身長以上の人は特に注意)
- 顔と名前を憶えて、数回目には名前を呼んで声をかけてみる
- 子どもの目を見て、やさしく
- 勉強のことは控えめに、どんな遊びをしているかなど
- 子どもがきちんとあいさつできたときは、しっかりほめよう



## あいさつでつながる心

- 知り合うきっかけになる
- 気持ちが良くなる
- 体の調子や機嫌がわかる
- 話しやすくなる



## 心をつなぐいろいろな言葉

おはようございます

おやすみなさい

ありがとう

こんにちは

さようなら

## 防犯上の効果あり

- きちんとあいさつできる子、声を出せる子の多い地域は、不審者に狙われにくいといわれています
- あいさつをすることで、どこの子かわかり、何かあったときに情報収集がしやすくなります

## 一人ひとりが地域の子育てサポーター

昔の常識にとらわれず、今どきの「孫育て」を学んで、頼れる応援団になりましょう

## 孫育ての心得10か条

1. 育児の主役はパパ・ママ、祖父母はサポーター
2. パパ・ママの話を聞く
3. 今と昔の子育ての違いを知る
4. とがめるより、補う
5. 他の子、親と比べない
6. 手、口、お金は出し過ぎず、心と体力にゆとりを! 断る勇気も持とう
7. 「ありがとう」「ごめんなさい」を言う 親しき仲にも礼儀あり
8. 孫のほめ役、夢の最強応援団になる
9. 自分のライフスタイルも大切に
10. 老いていく姿を見せる



出典: NPO法人 子育て・ニッポン